解放された奴隷の選び

One for Israelの記事からの学び
23/5/15　　恵比寿マンデー

出エジプト記21:2-6

あなたが　ヘブル人の男奴隷を　買う場合、その人は六年間　仕えなければならない。しかし　七年目には　自由の身として　無償で去ることができる。
彼が　独身で来たのなら　独身で去る。彼に妻があれば、その妻は彼とともに去る。
彼の主人が　彼に妻を与えて、その妻が　彼に息子あるいは娘を産んでいたなら、この妻とその子どもたちは　主人のものとなり、彼は一人で去らなければならない。
しかし、もしも　その奴隷が『私は、ご主人様と、私の妻と子どもたちとを愛しています。自由の身となって　去りたくありません』と明言するようなことがあるなら、
その主人は　彼を神のもとに　連れて行く。それから　戸または門柱のところに　連れて行き、きりで　彼の耳を刺し通す。彼は　いつまでも主人に　仕えることができる。"

申命記　15章12～17節

もし　あなたの同胞、ヘブル人の男あるいは女が、あなたのところに売られてきて　六年間　あなたに仕えたなら、七年目には　自由の身として、あなたのもとから　去らせなければならない。
その人を　自由の身として　去らせるときは、何も持たせずに　去らせてはならない。
必ず、あなたの羊の群れと　打ち場と踏み場のうちから取って、彼に分けてやらなければならない。
あなたの神、主があなたに　祝福として与えられたものを　与えなければならない。
あなたは、エジプトの地で　奴隷であったこと、そして、あなたの神、主があなたを　贖い出されたことを　覚えていなければならない。それゆえ、私は今日　このことをあなたに　命じるのである。
しかし、その人が　あなたとあなたの家族を愛し、あなたのもとにいて幸せなので、あなたのもとから去りたくありません」と言うなら、
あなたは　きりを取って、彼の耳を　戸に　刺しなさい。彼はいつまでも　あなたの奴隷となる。女奴隷にも　同じようにしなければならない。

ヘブル人の奴隷に関する原則

1）ヘブル人は　奴隷になっても　無期限に奴隷となる訳ではない

2）6年間仕えた後の7年目に　解放されて自由の身になるか？主人のもとに自発的に奴隷としてとどまるか？　奴隷が選んで良い

3つの疑問

１　なぜ刺し通されるのか？

２　なぜ戸または　門柱で　行われるのか？

３　なぜ　耳なのか？

なぜ刺し通されるのか？

1）パウロ

ガラ6:17　私は、この身にイエスの焼き印を帯びているのですから。

+所有者/主人が存在することを示す　身体に刻まれた印。（刺す、圧印する）

+古代社会において　奴隷や兵士は、自分の主人/司令官の名前が　身体に印として刻まれた。――キリストのしもべとしての印が　身体に刻まれている―迫害される中で受けた数々の傷の傷跡

+パウロは 「キリストのしもべ」という自己認識を持っていた

なぜ刺し通されるのか？

２）イエス様　　究極のしもべとして

ヨハ19:18　彼らは　その場所（ゴルゴタ）でイエスを十字架につけた。

ヨハ20:25　私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません。

ヨハ20:27　あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。

ゼカ12：10彼らは　自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見て、ひとり子を失って嘆くかのように、その者のために嘆き、長子を失って激しく泣くかのように、その者のために激しく泣く。

なぜ戸/門柱で　行うのか？

1）出エジプトを記念する過越しの祭り―奴隷状態からの解放

「イスラエルの会衆の集会全体は、夕暮れにそれを屠り、その血を取り、羊を食べる家々の二本の門柱と鴨居に塗らなければならない。」出エジプト12:6，7

2）十字架上で突き刺され流れたキリストの血潮―罪の奴隷状態からの霊的解放

3）主人を愛するが故に自らの意志で　奴隷としてとどまる選びをする　しもべの血 :戸/門柱で行う儀式---義務ではなく自由意志で主人に仕える者へ

なぜ戸/門柱で　行うのか？

戸/門は、一つの場所から別の場所へ移動する時に通過する入口

ヨハ10:7　わたしは羊たちの門です。

ヨハ10:9　わたしは門です。だれでも、わたしを通って入るなら救われます。

――天の御国に入る門

私たちも　この門を通って御国に入るよう招かれている

なぜ　耳なのか？

１）祭司の聖別

レビ8:23　それ（任職のための雄羊）が屠られると、モーセはその血を取り、それをアロンの右の耳たぶと右手の親指と右足の親指に塗った。

２）ツァラアト患者のきよめ

レビ14:14　祭司は　代償のささげ物の血を取り、それを　きよめられる者の右の耳たぶと右手の親指と右足の親指に塗る。

+私たちの手は、私たちの行いを、私たちの足は　私たちの歩みを、私たちの耳は　主に従順に聞き従うことを象徴している

結論

+ご自身の血を代価として、私たちを罪の奴隷状態から贖いだして下さったイエス様に　どう応答したら良いでしょうか？

　　6年間の奴隷期間満了となった奴隷のように、私たちには　選択肢が与えられている。イエス様への愛のゆえに　自由意志で　キリストのしもべとなるよう招かれています。パウロの勧めに耳を傾けてみましょう。

　「ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを　神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として　ささげなさい。それこそ、あなたがたに　ふさわしい礼拝です。」ロマ12:1

資料・参考文献

1)https://www.oneforisrael.org/bible-based-teaching-from-israel/why-did-bondslaves-have-their-ear-pierced/

2) Ariel’s Bible Commentary　The Book of Romans p780(epub)

The Basis of Conduct:Dedication 12:1-2　　Dr. Arnold Fruchtenbaum

3)中川先生　ルカによる福音書(71)　弟子の代価